

第五 法幣ノ價值維持策ト與地物價

蔣政權ノ財政經濟的抗戰力ノ基礎カ法幣ニ在ルコトハ疑フヘカラサルトコロニシテ今日慢性的崩落ノ運命ヲ辿リ乍ラ尙敵性通貨トシテ餘喘ヲ保テアルハ主トシテ左ノ特色ヲ具備シアルニ依ル

- 一、幣制改革以來近代の統一通貨トシテノ國家性
- 二、國民的通貨トシテノ絕對的信賴性
- 三、外貨轉換性
- 四、英國ノ法幣援助並實質的管理
- 五、在外爲替資金ノ充實性
- 六、法幣資金逃避防止策
- 七、支那經濟機構ノ特質
- 八、支那領土ノ廣大性
- 九、外國租界ノ存在並援蔣の性格
- 十、法幣ニ代ルヘキ通貨ナキコト

事變ノ進展、歐洲戰ノ勃發並我カ海港封鎖ニ依ル補給路遮斷ハ諸種ノ惡材料累加ノ原因トナリ漸次右ノ特質ヲ喪失スルニ至ラシメタルヲ以テ、法幣防禦、法幣死守ノ一線ニ向ツテ對内外價值維持政策ヲ動員スルニ至レリ、其ノ一般的法幣對策ハ輸出促進輸入抑制、華僑送金、外國借款、爲替安定資金ノ充實等貿易、爲替、通貨、金融政策ニ一貫シアリ、特殊的法幣對策トシテハ對日貨幣戰、占領地經濟機構破壞對日經濟封鎖政策等是ナリ

即チ圓系通貨ニ對シテハ其ノ流通ノ妨害、圓系物資ニ對シテハ其ノ與地流入ノ抑壓、中國物資ノ占領區域流出ノ禁止、法幣ニ對シテハ流通量ノ壓縮、內國爲替ノ制限及外貨ニ對シテハ外國爲替管理ノ強化並集中策等ノ對日通貨戰ヲ初メ物資對策ヲ實施シアリ

右ノ法幣價值維持對策ニモ不拘ラス事變以來法幣ハ左ノ第四段ノ低落過程ヲ辿リツツアリ

一、法幣公定相場安定時期 (自昭和一二七、一三三、一三三、一三三) 對英一志二片一四

事變ノ勃發、戰火上海へ擴大ニ依ル資金逃避防止ノ爲メ預金引
出制限令ニ基ク第一次法幣「デフレ」政策ノ實施（金融安定
辦法）時期

2 右ニヨル資金硬塞緩和策トシテ滙劃制度（同業者間ノ振替相殺
ノ爲替手形）ノ利用

3 外貨ハ比較的の自由ニ賣買セルヲ以テ公定相場ヲ維持セリ

三、第一次法幣崩落時期（自昭和一三、四、一四）對英八片_{一、二}

ノ日本側ノ法幣獲得防止及北支聯銀對策トシテノ外國爲替管理法
ノ實施ニ基ク爲替割當制不安ノ爲メ玆ニ公定相場ト市場相場（闇
相場）ノ二相場出現時期

2 闇相場維持ノ爲メ政府系銀行ノ外貨賣法幣支へ旺盛ヲ極ム
英支法幣安定資金ノ設置アリ英國ノ積極的支援ノ抬頭顯著時期
ナリ

三、第二次法幣崩落時期（自昭和一四、六、一七）對英六片_{一、二}
至昭和一九、七、一七）對英六片_{一、二}

第一回外貨賣止ノ時期、法幣崩落ノ原因

1 香上銀行ノ不採算ニヨル外貨賣止

2 貿易ノ惡化

3 華僑送金ノ減少

4 華興券ノ出現

5 關稅擔保内債ノ支拂停止

所謂第二次金融安定辦法ヲ實施シ第一次金融安定辦法ノ昭和十二
年八月十三日以後ノ預金ニツキテノ引出無制限ヲ上海銀錢業預金
ニ對シテハ引出新制限ヲ實施ス（之ニ對シ五千萬元ノ新滙劃制度
ノ創設ヲ認容緩和）

四、第三次法幣崩落時期（自昭和一九、七、一八）對英七片・七五
至昭和一九、九、一三）對英五片・五〇

第二回外貨賣止ノ時期
1 貿易ノ惡化、法幣安定資金ノ涸竭、北支爲替集中制ノ全面的擴
張

- 2. 右ニ對シ貿易管理ノ強化策ヲ講ス（法幣價值維持ハ結局貿易尻ノ改善ニ在リトナシ、貿易管理ノ強化ヲ計ル）
即非常時期輸入禁止辦法、外貨購買申請辦法及輸出爲替買入差額支拂辦法ヲ制定ス
- 五. 法幣相場四片台小康時期（自昭和一九四一三）四片一三
歐洲戰ニヨル「ポンド」不安ノ爲メ上海ニ逃避資金ノ還流小康ヲ得
- 2. 英領植民地ノ爲替管理ニヨル資金逃避
- 3. 香港ニ於ケル所得稅增徴及外貨賣買ノ禁止ニヨル資金逃避
- 六. 第四次崩落時期（自昭和一九四五二）三片一四
第三回外貨賣止ノ時期
- 1. 入超ノ激増
- 2. 法幣安定資金ノ減少
- 3. 英米ノ援助減退（上海金融資本及第三國資本ヨリノ遊離）

4. 我方法幣獲得ノ妨害ノ意圖

5. 法幣ノ對外ヨリモ對内の價值維持ノ重視——新シキ意味ノ國內通貨政策（西南金融網ノ擴充鞏固金融辦法綱要縣銀行法ノ制定）

右ノ如ク事變以來ノ法幣死守策特ニ其ノ對外的價值維持策ノ施行ニモ拘ラス慢性的退化傾向ハ漸次ニ上海金融資本及第三國資本ヨリ遊離ノ傾向ヲ現示シ、之ニ捉ハレサル對内的價值維持策ニ轉向新シキ意味ヲ持チタル所謂國內管理通貨制度論ノ抬頭ヲ見ルニ至リツツアルモノノ如シ

支那奧地ハ地大物博衆多ナリ、抗戰建國ノ基礎ハ資源ノ豐富ト其ノ旺盛ナル集中の生産力ニ歸結スヘク法幣ノ低落ノ如キハ金融ノ一時的現象ニ過キスト論スルカ如キ其ノ類ナリ

然レトモ未タ第三國ノ援助ニ俟ツコト大ナル農業構成低度ノ奧地ニ於テ果シテ近代の抗戰基礎ノ造成ヲ其ノ生産力一點ニ歸着センメ得ルヤ疑問ニシテ法幣ノ對外的價值ヲ無視シタル經濟自給圈樹

立論モ未タ具體的施策不明ニシテ抽象的夢想論ノ範疇ヲ出テサルヘシ

一方法幣ノ對外價值低落ハ又國內物價騰貴ノ現象ヲ隨伴シ、紙幣増發ト共ニ惡性「インフレーション」ノ指標ヲ呈シアリ

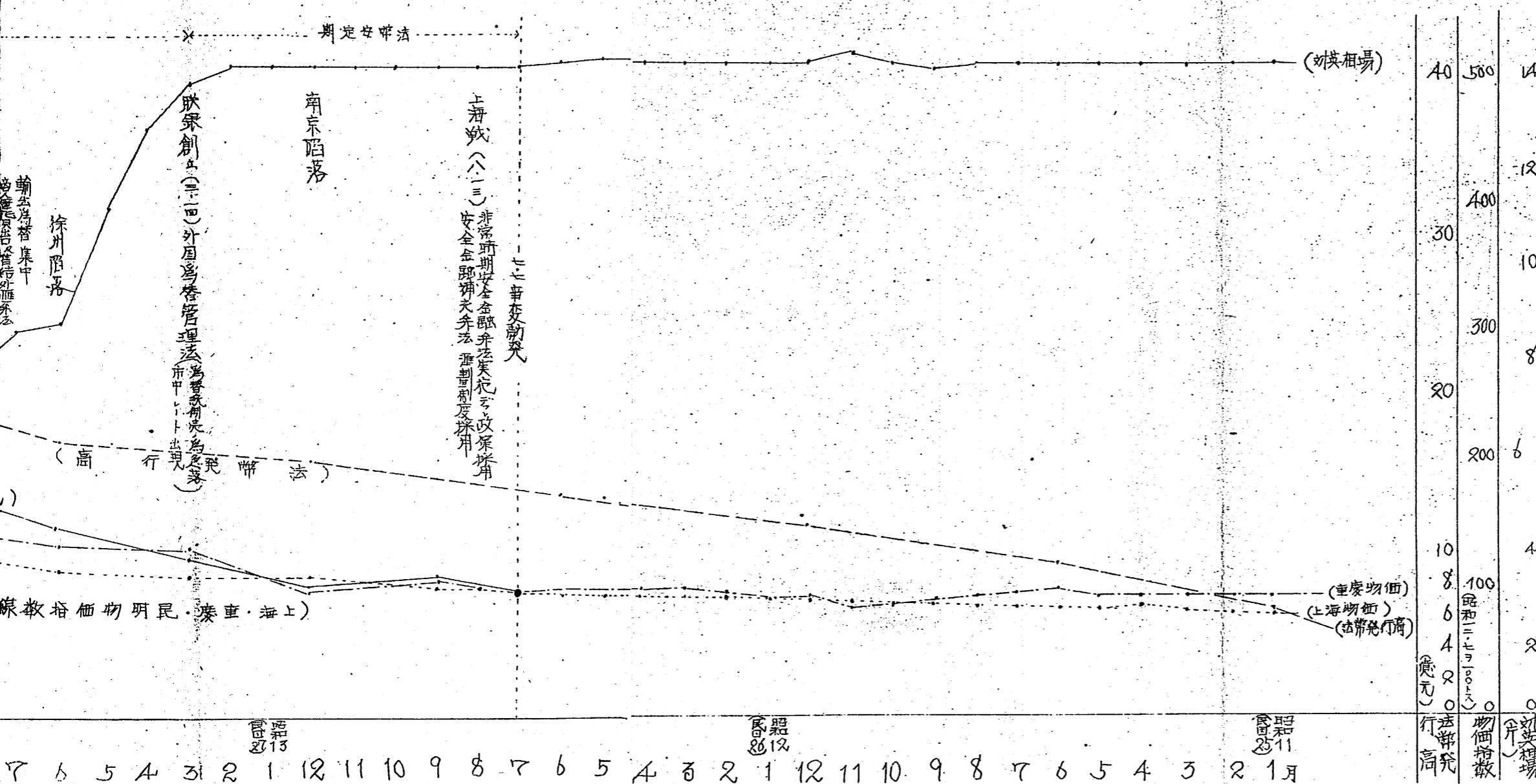
即チ爲替相場ノ低落ハ直接ニ輸入物資ノ騰貴ヲ齎ラシ、次イテ國內物資騰貴ノ誘因ヲナシ、次第ニ國內商品ニ浸透シ、遂ニ一般物價ノ騰貴ヲ招來ス、事變後ノ上海、重慶及昆明ノ物價騰貴狀況ハ別表第七ノ如ク、武漢、廣東陷落以後漸次上昇過程ニ入り、第二次、第三次法幣崩落以來之ト相照應シテ急騰ノ一途ヲ辿リツツアリ

蔣政權ハ右ノ物價急騰對策トシテ既ニ諸手當ヲ施シアリシカ民國二十七年十月非常時期農工商管理條例ヲ以テ投機及獨占ノ禁止及公定價格制ヲ實施シ民國二十八年二月非常時期評定物價及取締投機操縱辦法ヲ制定、各地物貨評定委員會ヲシテ生活必需品ノ價格

公定及思惑ノ取締ヲ強化シ更ニ諸辦法ヲ補足發布シテ物價對策ニ遺憾ナカラシメアリ

(例 取締囤積日用品必需品辦法、日用品必需品平價購銷辦法、非常時期糧食調節辦法、平抑鹽價辦法等)

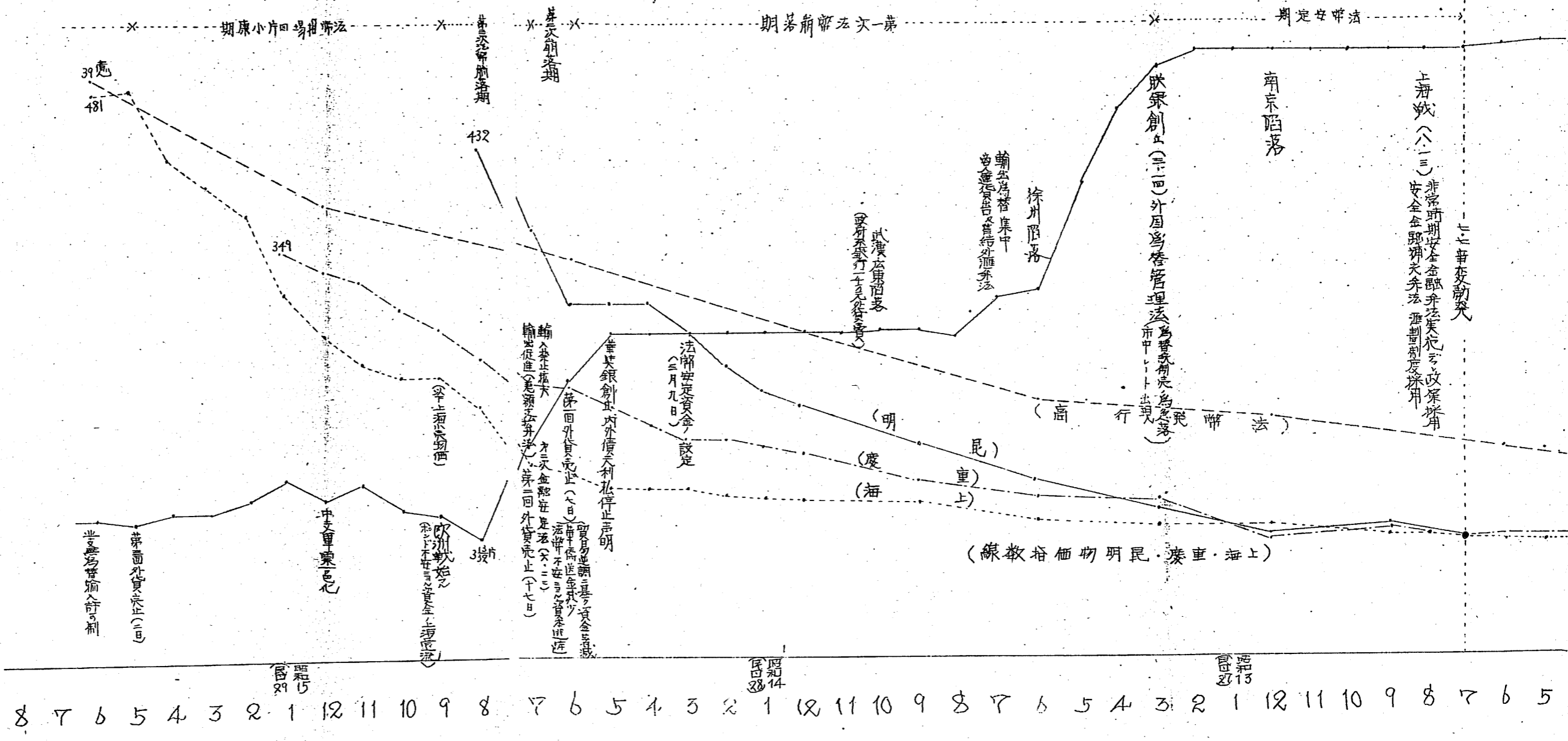
然レトモ「ガソリン」ノ缺乏、日常生活必需品ノ缺乏ハ有名ニシテ官廳用自動車ノ廢止ハ勿論木炭自動車、手押車ノ代用、植物油ノ「アルコール」化「ガソリン」代用化、燈料代用ニ依ル植物油ノ出廻リ低下「タイヤ」ノ缺乏ニ依ル竹木ノ利用、紙ノ缺乏ニ依ル新聞紙質ノ粗雜化ト之カ缺乏ニ依ル宣傳力ノ低下其他等々物資缺乏ト物價騰貴ニヨル重慶苦悶ノ様相ハ疑フヘクモナキカ、近代人ノ眼底ニ映シタル寸度ヲ以テ直チニ蔣政權ノ經濟狀態ヲ批判スルハ正當ナルモノト謂ヒ難ク、蔣政權ノ意志力コソハ其ノ企劃スル全面的計畫經濟化ノ段階ニ於テ艱難克服ノ成否ヲ決定スル關鍵タルニ非スヤト思料セラル



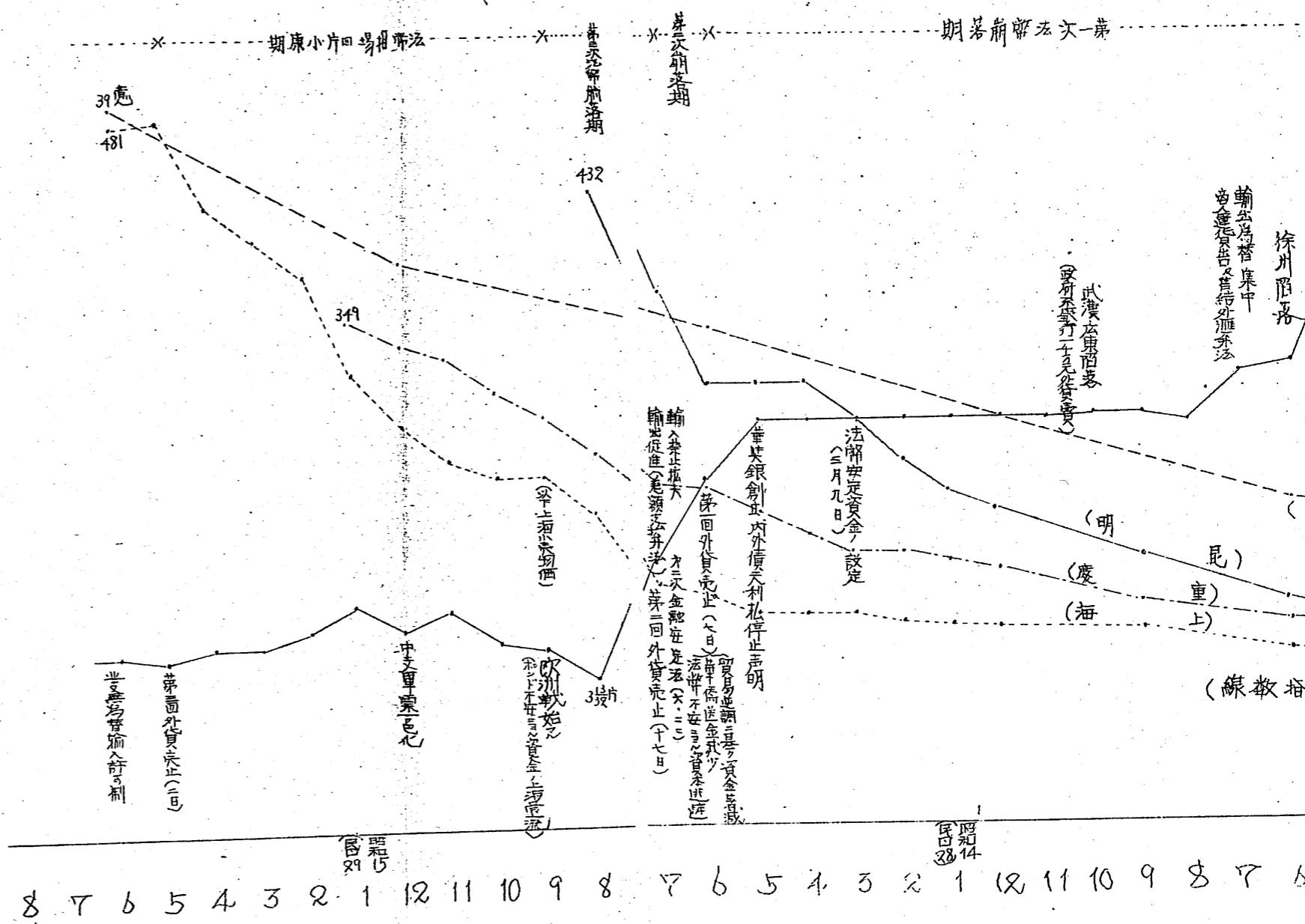
40	500	14
30	400	12
20	300	10
10	200	8
8	100	6
6	50	4
4	20	2
2	10	0
0	0	0

第七表
法幣發行高法幣對英相場、上海重慶昆明三市物價指數對照線圖





備考
 1. 法幣政策開始は「棉用統計」より
 2. 法幣政策開始は「満鉄」紙幣力判断より
 3. 物価指数は「前掲」紙幣力判断より、四川各銀行資料(重慶)上海商工會資料「上海月報」より採り、昭和ニ七ノ指数一〇〇トシテ換算ス



備考

1. 法幣対英相場(上海統計)
2. 法幣対行高(満鉄)抗戦力判断(鉄)
3. 物価指数(前場)抗戦力判断(四川)経済多行資料(重慶)上海商工會(所)経済月報

ヨリ採年 昭和ニニセウ指数一〇〇〇トシテ換算ス

第六 戰時貿易統制

蔣政權ノ經濟力ノ基礎タル法幣崩落ノ動向ヲ檢討シタルヲ以テ茲ニハ經濟力ノ他ノ重要ナル支柱トモナシアル戰時貿易統制ニツキ觀察ヲ試ミントス

蔣政權ノ戰時貿易統制ノ發展ハ左ノ二期ニ分ツテ考察スルコトヲ得ヘシ

一、貿易管理萌芽時期（事變勃發ヨリ漢口陷落迄）

事變前ノ中國貿易ニ對スル政府機關トシテハ行政院實業部國際貿易局カ貿易研究及指導機關トシテ存在シタルニ過キス對外貿易ノ全般的調整機關ハ未タ存在セザリシナリ

然ルニ事變勃發スルヤ漸次其ノ必要迫リ昭和十二年十二月二十二日有名ナル戰時農礦工商管理條例ヲ公布シ戰時經濟組織化ニ一歩ヲ踏ミ出スコトナレリ、之ニ依據シ軍事委員會隸下ニ貿易調整委員會、農業調整委員會及工礦業調整委員會（後ニ各調整處ニ改

編）ノ三委員會ノ創設トナル然ルニ未タ貿易委員會ハ戰事軍事上ノ必要ニ基ク輸出獎勵、輸入轉口ノ制限禁止並ニ資日防止等消極的ナル軍事的管理ヲ實施シタルニ過キス即チ事變當初ハ未タ戰時貿易管理ノ色彩ハ淡白ナリ、然ルニ事變進展シ南京ハ陷落愈々國家ノ將來トシ難キニ至リ昭和十三年一月戰時經濟ノ主體トシテ行政院經濟部ノ新設アリ貿易部門ハ從來ノ軍事委員會ヨリ新タニ財政部ノ統轄下ニ移サレ財政的見地ニ基ク國家全般ノ統制管理ニ着手スルニ至レリ

而シテ昭和十三年三月北支聯銀ノ創立アリ之カ對抗策トシテ外國爲替管理法（昭和十三年三月外匯請核辦法）ニ依ル輸入許可制度ト輸出爲替集中政策（昭和十三年四月二十五日商人運賃出口及集結外匯辦法出口貨物應結外匯之種類及其ノ辦法）トノ實施ヲナスニ至レリ

二、貿易管理本格化時期（漢口陷落以後）

武漢、廣東陷落ハ蔣政權ニトリテ凡有部面ニ劃期的意義ヲ齎ラセリ
 卽戰區ノ擴大、日貨流入ノ増加、闇相場利用、恐慌増加等ノ防止
 ノ爲メニハ政府ハ最早民衆ノ自動的日貨排撃ニ放置シ難ク昭和十
 三年十月査禁日貨條例、轉口貿易ノ統制及敵貨審査委員會ヲ特設
 シ直接的國家力ノ登場トナリ國家自カラニ依ル至嚴ニシテ直接的
 ナル爲替及貿易ノ管理ヲ實施スルニ至レリ
 而シテ其ノ統制機構ハ依然財政部貿易委員會（後ニ貿易部新設）
 ナ中核トシ之ニ中央信託局、經濟部、農本局及經濟部資源委員會
 ノ基幹機關ヲ整備各省ニハ輸出入貿易委員會ヲ組織セシメ貿易統
 制一段ノ強化ヲ企圖ス
 而シテ昭和十四年七月以來ハ本格的國家化時期ニ入りタルモノノ
 如ク輸入貿易統制ノ強度化（昭和十四年七月一日非常時期禁止進
 口物品辦法其他）

闇相場悪用ノ擊滅及新輸出促進策（昭和十四年七月六日出口貨物
 結匯領取匯價差額辦法實施即チ中央交通銀行ノ揭示相場ト公定相場
 トノ産額ヲ輸入業者ハ平衡費トシテ支拂、輸出業者ハ之カ補償ヲ
 受ク「プール」制最近ハ揭示相場七片ヨリ四片半ニ引下タルモノ
 ノ如シ）及輸出貿易ノ國營化（桐油、茶葉、豚毛及鑛産ノ土産四
 品ノ國家機關ニ依ル直接的最惠價格ニ依ル統一的收買、運輸並輸
 出）ヲ實行スル迄ニ發展セリ（戰時貿易統制ニ就テハ昭和十五年
 三月二十二日支情經濟號外參照）
 斯ル貿易部面ニ於ケル國家的進出ハ輸入制限―輸出増加―外貨獲
 得―法幣ノ安定―軍需品輸入力確保―抗戰力ノ増強過程邁進ニ
 外ナラサルモ先ツ之カ發展ノ基礎タル農業生産力ノ培養ト農業高
 利貸資本並封建制ノ打破トハ其ノ最モ必要トスル所ニシテ茲ニ於
 テ國家力ノ進出ト共ニ次第第二其等國內的ノ極格ヲ脱セシメ併セテ
 中間商業資本ノ調落ヲモ招來セシメ國家制把ノ下ニ輸送力増強ノ

基礎的條件確立ハ看易キ理ナルモ事變以來我カ補給路封鎖作戰ノ影響ハ右ノ抗戦力増強過程ニ幾多ノ支障ト萎縮トヲ與ヘタルモノノ如ク、蔣政權ノ最モ重視シアル國營貿易品ノ輸出數量遞減狀況（金額ニ於テ著減ナキハ價格騰貴ニ依ルモノナラン）第八表國營輸出品輸出額表總計ニ於テ之ヲ知ルヘシ

斯クテハ一難去ツテ一難來ルノ觀ナキヲ得ス輸出促進過程ノ減退ハ再ヒ農業生産力ノ新ナル桎梏ヲ生ムニ至ルヘク農民大衆ノ抗日戰爭ヘノ動員ハ遂ニ其ノ實效ニ支障ヲ生セシメ、抗戦力増強ノ內的矛盾ハ蔣政權ノ今後克服スヘキ重要ナル貿易上ノ問題タルヲ失ハス、今日殘サレタル西北「ルート」ノ強化其他貿易間道ノ開拓以外ニナキ蔣政權カ何處ニ其ノ血路ヲ求メテ抗戦力ノ對内外ノ低下ヲ防止スルカハ今後ノ問題ナリト雖モ抗戦力ノ低下ハ最早覆フヘクモナシ（昭和十五年六月二十五日支情第九號佛印ノ物資封鎖ノ敵軍補給ニ及ホス影響參照）

更ニ事變以來ノ占領港及未占領港兩港ノ對外貿易及之ヲ通スル國內物資流動狀況ヲ大體觀察セハ昭和十三年ハ概ネ占領港對非占領港ノ金額比六〇對四〇ナリシカ昭和十四年ハ概ネ八〇對二〇、昭和十五年六月迄ハ八五對一五トナリ彼此ノ貿易勢力ノ比重差變遷ハ顯著ニシテ蔣政權ノ財政的收入ニモ至大ノ影響ヲ齎ラスモノナルヘシ（詳細ハ第八表參照）

而シテ事變ノ進展ニ件ヒ上海カ次第ニ蔣政權ノ直接的管理ヨリ分離シ、貿易統制ノ重心カ南遷シテ以來、敵性貿易ノ重心モ亦香港ニ集中シ、佛印、澳門、廣州灣、緬甸ト共ニ大ナル援蔣基地ト化セルハ蔣側貿易變遷ニ於ケル一特色ニシテ香港ハ軍需品ノ仲繼地トシテヨリモ支那土產物資ノ集中地、密輸地トシテ其ノ特色ヲ發揮シ就中國營貿易品タル桐油、茶葉、錫及銻ハ香港ヲ仲繼港トシテ主トシテ米國ニ輸出セラレ對支借款ノ繼續及軍需品輸入上ノ大ナル役割ヲ演シ其ノ援蔣的地位ハ看過シ難キトコロトナレリ

今次我軍ノ強硬ナル封鎖ニ遭ヒ其ノ援蔣的性格モ激變スヘキカ蔣政
權ノ弱外易變過程ニ於テ一特色ヲ殘シタルモノニシテ注目ス
ルノ要アリ(昭和十五年七月一日支情報號外主トシテ經濟上ヨリ
觀タル香港ノ援蔣的地位參照)

0294

REEL No. A-0216

0449

アジア歴史資料センター

附表第八表 其一

事変以来ノ占領港及未占領港對外貿易一覽表

(昭和十五年六月現在)

入超合計	輸 入		輸 出		輸 入		金額	%	昭和十一年
	未占領地	占領地	未占領地	占領地	未占領地	占領地			
	二七、七三四	一〇	七〇、八七〇	一	九四、五三四	一	〇	〇	昭和十一年
	一、七四六	一	八、八三〇	一	九、五三四	一	〇	〇	昭和十二年
	三五、九九八	二、九八八	二、三四〇	九、八八八	四、九四五	七、二二六	〇	〇	昭和十三年
	一、四二五	一、五五五	二、四九九	二、三三〇	三、八〇五	三、三三三	〇	〇	昭和十四年
	五、四〇九	一、八三三	一、五三三	一、五三三	一、七一一	一、三三三	〇	〇	昭和十五年
	二、三九七	四、四〇二	一、九八七	一、五三三	一、九四〇	一、四〇二	〇	〇	事変以来 總金額

備考

昭和十一年度ハ全部未占領地貿易ニ加算セリ、詳細ハ屬表ヲ參照スヘシ

(單位千元)

第八表 第一欄表

占領地占領後對支那對外貿易表

(昭和十五年現在)

單位千元 () 内は占領前貿易

埠頭要	昭和十一年		昭和十二年		昭和十三年		昭和十四年		昭和十五年	
	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出
秦皇島	3,000	1,500	2,500	1,200	2,000	1,000	1,800	1,500	1,200	1,000
天津	7,500	4,000	6,000	3,000	5,000	2,500	4,500	4,000	3,500	3,000
龍口	2,000	1,000	1,500	800	1,200	600	1,000	900	800	700
煙台	4,500	2,500	3,500	1,800	3,000	1,500	2,800	2,500	2,200	2,000
威海衛	1,500	800	1,200	600	1,000	500	900	800	700	600
膠州	4,500	2,500	3,500	1,800	3,000	1,500	2,800	2,500	2,200	2,000
蕪湖	1,500	800	1,200	600	1,000	500	900	800	700	600
南京	1,500	800	1,200	600	1,000	500	900	800	700	600
鎮江	700	400	600	300	500	250	450	400	350	300
上海	15,000	8,000	12,000	6,000	10,000	5,000	9,000	8,000	7,000	6,000
蘇州	4,000	2,000	3,000	1,500	2,500	1,200	2,200	2,000	1,800	1,600
杭州	2,000	1,000	1,500	800	1,200	600	1,100	1,000	900	800
廈門	3,500	1,800	2,800	1,400	2,200	1,100	2,000	1,800	1,600	1,400
福州	1,000	500	800	400	700	350	650	600	550	500
漢口	3,800	2,000	3,000	1,500	2,500	1,200	2,300	2,100	1,900	1,700
九江	1,500	800	1,200	600	1,000	500	900	800	700	600
沙贛	1,500	800	1,200	600	1,000	500	900	800	700	600
廣州	1,500	800	1,200	600	1,000	500	900	800	700	600
瓊州	3,500	1,800	2,800	1,400	2,200	1,100	2,000	1,800	1,600	1,400
南甌	2,000	1,000	1,500	800	1,200	600	1,100	1,000	900	800
北甌	1,500	800	1,200	600	1,000	500	900	800	700	600
江甌	1,500	800	1,200	600	1,000	500	900	800	700	600

州	市	町	村	支庁	道	合計
瓊州	瓊州	瓊州	瓊州	瓊州	瓊州	瓊州
北洞	北洞	北洞	北洞	北洞	北洞	北洞
江門	江門	江門	江門	江門	江門	江門
昭和十五年占領港貿易(大月辺)總計						
皇慶	皇慶	皇慶	皇慶	皇慶	皇慶	皇慶
嵩縣	嵩縣	嵩縣	嵩縣	嵩縣	嵩縣	嵩縣
宜昌	宜昌	宜昌	宜昌	宜昌	宜昌	宜昌
沙市	沙市	沙市	沙市	沙市	沙市	沙市
長沙	長沙	長沙	長沙	長沙	長沙	長沙
寧波	寧波	寧波	寧波	寧波	寧波	寧波
温州	温州	温州	温州	温州	温州	温州
三都澳	三都澳	三都澳	三都澳	三都澳	三都澳	三都澳
福州	福州	福州	福州	福州	福州	福州
九龍	九龍	九龍	九龍	九龍	九龍	九龍
拱北	拱北	拱北	拱北	拱北	拱北	拱北
梧州	梧州	梧州	梧州	梧州	梧州	梧州
雷州	雷州	雷州	雷州	雷州	雷州	雷州
龍州	龍州	龍州	龍州	龍州	龍州	龍州
象自	象自	象自	象自	象自	象自	象自
尺茅	尺茅	尺茅	尺茅	尺茅	尺茅	尺茅
騰越	騰越	騰越	騰越	騰越	騰越	騰越
未占領港	未占領港	未占領港	未占領港	未占領港	未占領港	未占領港

①輸出金額、毎月統計より採用
②輸入金額、北支滿港に就ては毎月統計より採用、其の諸港は統計打致金額に於ては本年及び前年概算
昭和十五年(二六) 昭和十五年(二七) 昭和十五年(二八) 昭和十五年(二九) 昭和十五年(三〇)

③占領港未占領港別区分、各年未開港港に何れも未占領港に準じて算入
占領港に追加算、尚且六月閉港港、占領前後に分別算入
昭和十五年(二〇六)

附表第八表其二
 事变以来、占領港及未占領港国内物資流動一覽表

招 未 占 領 地	出 入 占 領 地	出 未 占 領 地	移 占 領 地	入 未 占 領 地	移 占 領 地	年 別	
						金額 十元 單位	%
(一)	—	一八四、六七三	—	二〇〇、〇〇二	—	金額 十元 單位	昭和十一年
	—	—	—	—	—	%	(前年 比)
(二)	—	一、六一、六七二	—	一、七九、三八八	—	金額 十元 單位	昭和十二年
	—	—	—	—	—	%	
(一)	(二)	二七九、二五四	四七九、九七〇	四一六、一〇〇	四一〇、二五七	金額 十元 單位	昭和十三年
		—	—	—	—	%	
(一)	(二)	一、二六、七三三	六八六、三〇三	二一四、三五六	五〇〇、四七一	金額 十元 單位	昭和十四年
		—	—	—	—	%	

0297

第八表 其二属表 占領地・未占領地域別国内物資流動表 (單位：千元)

年別	昭和十一年		十二年		十三年		十四年	
	移入	移出	移入	移出	移入	移出	移入	移出
北 海	15,911	10,000	15,911	10,000	15,911	10,000	15,911	10,000
南 甯	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
雷 州	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
格 州	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
桂 州	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
九 龍	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
福 州	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
三 都 澳	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
溫 州	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
寧 波	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
長 沙	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
漢 口	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
宜 昌	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
萬 縣	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
重 慶	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
瓊 州	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
三 水	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
廣 州	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
汕 頭	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
九 江	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
漢 口	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
岳 州	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
重 慶	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
復 門	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
杭 州	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
蘇 州	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
上 海	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
鎮 江	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
南 京	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
蕪 湖	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
膠 州	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
威 海 衛	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
煙 台	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
濟 南	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
天 津	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
秦 皇 島	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
港 別	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000

備考一右、数字ハ海関統計ヨリ転載

昭和三十四年占領港税口上貨統計										昭和三十四年占領港税口上貨統計																						
重慶	瓊州	三水	廣州	汕頭	九江	漢口	岳州	廈門	杭州	蘇州	上海	鎮江	南京	蕪湖	膠州	重慶	瓊州	三水	廣州	汕頭	九江	漢口	岳州	廈門	杭州	蘇州	上海	鎮江	南京	蕪湖	膠州	
...

第八表 其三

国産輸出品輸出額表

品目	昭和十一年		昭和十二年		昭和十三年		昭和十四年		昭和十五年	
	数量 吨	価額 千円	数量 吨	価額 千円	数量 吨	価額 千円	数量 吨	価額 千円	数量 吨	価額 千円
桐油	八六七三八	七三、三七八	一〇二、九七八	八九、八四五	六九、五七七	三三、五〇一	一六、一六六	三三、六一四	三四、七八〇	一六、一六六
茶	七四、五六八	三〇、六六一	四〇、六九七	三〇、八二四	四一、六三四	二二、五五七	二四、七七三	三〇、三八五	七、八一五	二四、七七三
豚毛	五、二六四	二五、三〇四	四〇、四四	二七、九一一	三六、三三	三、三三三	二、四七四	四一、一一八	三六、七六六	二、四七四
錫	九、三三二	一六、四二	四〇、七五八	一六、五二六	五〇、四九三	一〇、六八九	一、二二〇	四四、六六四	一〇、二五三	一、二二〇
銻	一七、三一一	九、八八七	一五、三八八	一、四四六	七、九八三	六、七五九	四、二五八	六、七五九	四、二五八	四、二五八
錫	一一、二六〇	三六、七六八	一三、〇七七	三九、七一七	一一、七九一	一〇、五八九	五、三七六	一〇、五八九	五、三七六	五、三七六
合計	二〇二、一九〇	一八五、三四〇	一九二、六六一	二四〇、五一一	一九二、八三三	一八七、八六〇	一八三、九八七	一九二、六六一	二四〇、五一一	一九二、六六一

註 輸出数量は公担表示ヲ吨ニ換算表示セリ(一〇公担一吨)

第八表 其三属表 (國管輸出品輸出入額) 表
 單位元 (孤向八数量・單位公担ヲ示ス)

毛 豚		茶		油 桐		品 種 別
口 向 仕	港 出 輸 要 主	口 向 仕	港 出 輸 要 主	口 向 仕	港 出 輸 要 主	
米口 日 本 一三、三三、三三三 一、一、一、一、一 (一、一、一、一、一)	上海 一、一、一、一、一 (一、一、一、一、一)	上海 一、一、一、一、一 (一、一、一、一、一)	上海 一、一、一、一、一 (一、一、一、一、一)	香港 一、一、一、一、一 (一、一、一、一、一)	上海 一、一、一、一、一 (一、一、一、一、一)	昭和十一年 民口三十五年
米口 日 本 一三、三三、三三三 一、一、一、一、一 (一、一、一、一、一)	上海 一、一、一、一、一 (一、一、一、一、一)	上海 一、一、一、一、一 (一、一、一、一、一)	上海 一、一、一、一、一 (一、一、一、一、一)	香港 一、一、一、一、一 (一、一、一、一、一)	上海 一、一、一、一、一 (一、一、一、一、一)	昭 和 十 二 年 民 二 十 六 年
米口 日 本 一三、三三、三三三 一、一、一、一、一 (一、一、一、一、一)	上海 一、一、一、一、一 (一、一、一、一、一)	上海 一、一、一、一、一 (一、一、一、一、一)	上海 一、一、一、一、一 (一、一、一、一、一)	香港 一、一、一、一、一 (一、一、一、一、一)	上海 一、一、一、一、一 (一、一、一、一、一)	昭 和 十 三 年 民 二 十 七 年
米口 日 本 一三、三三、三三三 一、一、一、一、一 (一、一、一、一、一)	上海 一、一、一、一、一 (一、一、一、一、一)	上海 一、一、一、一、一 (一、一、一、一、一)	上海 一、一、一、一、一 (一、一、一、一、一)	香港 一、一、一、一、一 (一、一、一、一、一)	上海 一、一、一、一、一 (一、一、一、一、一)	昭 和 十 四 年 民 二 十 八 年
米口 日 本 一三、三三、三三三 一、一、一、一、一 (一、一、一、一、一)	上海 一、一、一、一、一 (一、一、一、一、一)	上海 一、一、一、一、一 (一、一、一、一、一)	上海 一、一、一、一、一 (一、一、一、一、一)	香港 一、一、一、一、一 (一、一、一、一、一)	上海 一、一、一、一、一 (一、一、一、一、一)	昭 和 十 五 年 民 二 十 九 年
米口 日 本 一三、三三、三三三 一、一、一、一、一 (一、一、一、一、一)	上海 一、一、一、一、一 (一、一、一、一、一)	上海 一、一、一、一、一 (一、一、一、一、一)	上海 一、一、一、一、一 (一、一、一、一、一)	香港 一、一、一、一、一 (一、一、一、一、一)	上海 一、一、一、一、一 (一、一、一、一、一)	昭 和 十 六 年 民 三 十 年

0301

第七 奧地經濟建設

前述緒論ニ於テハ蔣政權經濟力ノ指標タル戰時財政狀態特ニ軍費調達法ノ困窮性ヲ明ニシ且ツ其ノ基礎條件タル法幣ノ價值維持並ニ抗戰カ今一ツノ重要ナル支柱ヲナセル戰時貿易統制ヲ觀察シ來レル以上何レモ將來ノ見透困難ニシテ抗戰ノ前途ニ暗影ヲ投スルモノタラサルハナク直ニ蔣政權ニシテ長期持久戰ヲ決意スルニ於テハ結局國內經濟體制ノ強化ト奧地建設ニ邁進スルヨリ外其ノ術策ナカルヘシ茲ニ於テ奧地經濟建設ノ動向如何ヲ觀察セサルヘカラス

蔣政權ハ前述ノ如ク事變ノ進展ニ伴ヒ逐次戰時經濟體制ヲ整備シアリシカ武漢、廣東陷落ヲ契機トシテ愈々長期抗戰ノ經濟的地盤ヲ奧地ニ求メ、工廠ノ奧地移轉、難民ノ移殖、華僑ノ誘致、特ニ西南經濟ノ本格的建設（西南經濟建設委員會ノ擴充、戰時經濟政策ノ強化）ヲ企劃スルニ至レリ、而シテ資源最モ豐富ナル川康建設（四川及西康）ハ抗戰建國ノ基地トシテ最モ著目セララルル所ニシテ（川康建設

三二

方案）之カ經濟建設ハ他省開發計畫ノ模範タラシムルヲ要ストナシアリ（第五次國民參政會ニ於ケル蔣介石ノ主張）

西南經濟建設委員會ハ戰時經濟部ト共ニ其ノ開發機構ノ中核トナリ既ニ二千萬元ヲ投資セルノ外建國公債五億元ヲ發行セリ、又民間團體ニ於テモ建設熱ハ旺盛ナルモノアリ其ノ著名ナルモノニ西南實業建設協會、中國生產協會、華西墾殖公司及大華實業公司等アリ西南工商農鑛金融事業ヲ擔當ス尙西南經濟考察團ノ編成屢々行ハレ華僑並民族資本ノ誘致運動ニ遺憾ナカラシメアリ華僑富豪ノ胡文虎、杜月笙及五正廷等ノ暗躍ハ注目セラレアリ

今西南建設狀況ヲ交通、金融、農業及工鑛業部門ニ分ツテ概説セハ左ノ如シ

一 交通建設

中國交通建設ハ既ニ事變前民國二十一年全國經濟委員會指導ノ下ニ有名ナル公路網ノ建設計畫ノ著手ヲ初メトシ鐵道、水運及航空

ノ建設モ逐次整備セントスルノ趨勢ニアリ民國二十五年ニハ所謂蔣介石鐵道建設五箇年計畫（軍事的意思ヲ有スル西南支那新鐵道幹線網ノ建設）ヲ樹立シ着々其ノ實效ヲ收メントスルノ途次今次事變ニ遭遇シテ遂ニ挫折ノ已ムナキニ至レリ

而シテ民國二十七年十月武漢、廣東陷落ヲ契機トシテ蔣政權ノ既設鐵道ハ約六五%（約六千五百軒延長）喪失セラレ特ニ抗戰力維持上最モ主要ナル粵漢鐵道ノ機能喪失ハ蔣政權ヲシテ交通建設上新ナル地盤ノ開拓ニ邁進セサルヲ得サラシメ茲ニ奧地交通建設就中公路網ノ建設ニ能フ限リノ努力ヲ傾注シ新交通建設ニ依ル長期抗戰建國ヲ急クコトトナレリ

斯ノ如クシテ交通建設機構、交通統制機構ハ逐次整備セラレ、支那東部地帯ノ交通施設ノ撤收並奧地ヘノ轉送、交通建設ニ對スル強制的徵工、地方土着交通機關ノ動員及第三國ノ財政的並ニ物的援助等旺盛ヲ極メアリシカ歐洲戰勃發以來ハ漸次諸障礙累加シ來

リ、建設途中ニシテ工事中止ノ已ムナキニ至リタルモノ多ク、奧地經濟建設ノ前提條件タル交通建設ノ齟齬ハ抗戰力增強上最モ苦痛トナリタルモノノ如シ

比較的信スヘキ資料ニ基ク現在ノ奧地鐵道、公路及航空路建設ノ狀況第一、二、三圖ノ如シ

敘昆鐵道成渝鐵道及川康鐵道並ニ敘昆公路、成渝公路及滇緬公路ハ今後西南經濟建設ノ中樞的動脈トシテ最モ重要ナル役割ヲ演スルモノナラン

然レトモ今日佛印、緬甸補給線ノ切斷ト英佛支援ノ凋落ニ遭遇シ鐵道建設ノ齟齬ト公路輸送ノ困難、輸送費ノ割高及輸送力消耗度ノ増大ハ動脈的價值發揮ニ至大ノ支障ヲ齎ラシ建設ノ遲滯ハソレタケ免レサルトコロトナルヘシ

0302